

令和5年2月1日現在の世帯数と人口

(千種区 18.18Km²)

学区名	世帯数	人 口			対前月増減	
		総数	男	女	世帯数	人口
1 千 種	5,668	8,898	4,528	4,370	△ 1	△ 10
2 千 石	4,019	6,781	3,455	3,326	21	15
3 内 山	5,641	7,895	4,201	3,694	△ 11	△ 8
4 大 和	3,518	6,657	3,295	3,362	△ 4	1
5 上 野	7,410	15,377	7,522	7,855	6	△ 15
6 高 見	7,290	13,175	6,304	6,871	0	22
7 春 岡	6,901	10,890	5,752	5,138	△ 38	△ 33
8 田 代	11,280	21,808	10,422	11,386	△ 26	△ 17
9 東 山	10,249	19,108	9,330	9,778	△ 5	△ 9
10 見 付	4,578	8,519	4,257	4,262	△ 9	△ 9
11 星 ケ 丘	3,541	6,838	3,046	3,792	△ 3	△ 7
12 自 由 ケ 丘	3,534	7,228	3,292	3,936	△ 4	△ 8
13 富 士 見 台	6,512	15,224	6,921	8,303	△ 1	△ 17
14 宮 根	3,840	8,128	3,780	4,348	△ 11	△ 21
15 千 代 田 橋	3,746	8,319	3,917	4,402	11	5
千 種 区 計	87,727	164,845	80,022	84,823	△ 75	△ 111
R4. 2. 1	86,548	164,813	79,969	84,844		
対 前 年 比	1179	32	53	△ 21	△ 75	△ 111
名 古 屋 市	1,143,795	2,323,796	1,140,595	1,183,201	△ 276	△ 1,174
愛 知 県 (R5. 1. 1)	3,294,396	7,491,010	3,730,017	3,760,993	△ 1,249	△ 4,189

前月中の 増減内訳	自然動態			社会動態		
	出 生	死 亡	自然増減	転 入	転 出	社会増減
	70	164	△ 94	823	840	△ 17

【参考】

国勢調査千種区人口				これまでの最大人口と最小人口(千種区)	
昭和60年	163,762	平成17年	153,118	最大人口	173,598 (昭和50年2月1日)
平成2年	156,478	平成22年	160,015	最小人口	146,727 (平成11年4月1日)
平成7年	148,847	平成27年	164,696		
平成12年	148,537	令和2年	165,245		

注) 学区別の世帯数と人口は、令和2年国勢調査結果の本市独自集計速報値であり、後日総務省から公表される数値と異なる場合があります。

千種区の性比の状況

今回は、千種区の性比（女性の人口を 100 とした場合の男性の人口数）の状況をみてみます。

図 1：名古屋市全体および各区の性比（各年 10 月 1 日）

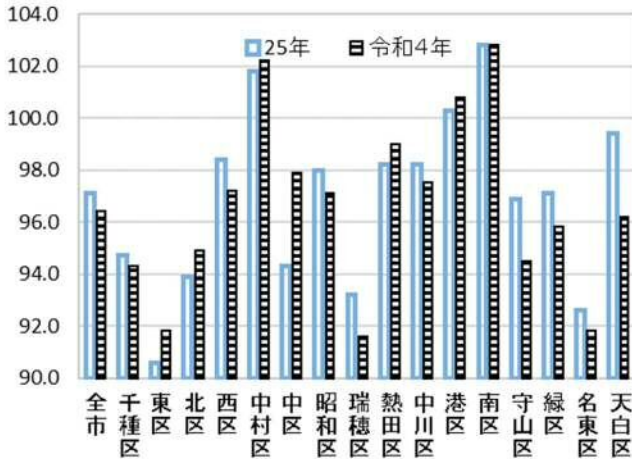


図 1 は名古屋市全体と各区の性比を示しています。千種区の令和 4 年 10 月 1 日現在の性比は 94.3 です。これは名古屋市全体(96.4)を下回っており、16 区中 13 番目の値となっています。性比が最も高いのは南区(102.8)、最も低いのは瑞穂区(91.9)です。平成 24 年と比較すると千種区は 94.7 から 0.4 下がっており、名古屋市全体では中区が一番上がって 3.6 増えています。

図 2：年齢 5 歳階級別の性比（令和 4 年 10 月 1 日）

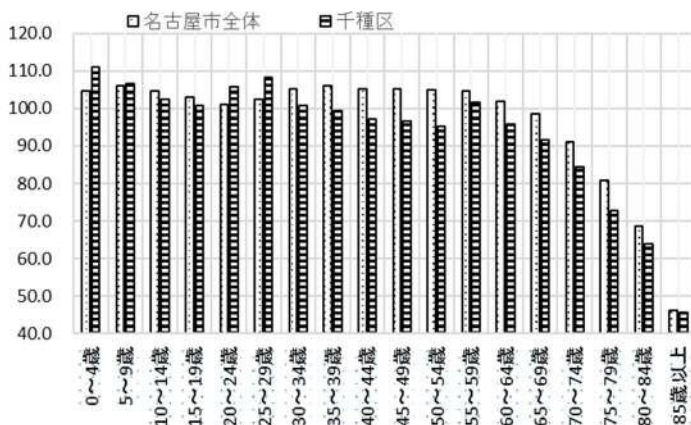


図 2 では、名古屋市全体と千種区の年齢 5 歳階級別の性比を示しています。千種区では 0 歳～34 歳の区分で平均 105.0 と高い一方、35 歳以上の区分平均は 85.8 となっています。一方、名古屋市全体では 0 歳～64 歳の全ての区分で 100 を超える数値となっています。

65 歳以降の年代では 100 を下回り右肩下がり減少傾向にあります。

図 3：各学区別の性比（各年 10 月 1 日）

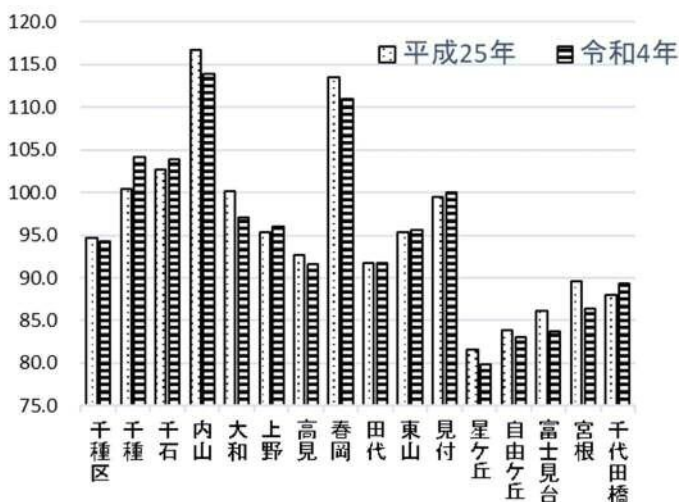


図 3 では、千種区内の各学区の性比を示しています。令和 4 年 10 月 1 日現在で性比が最も高いのは内山学区(113.9)、最も低いのは星ヶ丘学区(80.8)でした。

また、平成 25 年 10 月 1 日現在の性比が最も高いのは同じく内山学区(115.9)、最も低いのは星ヶ丘学区(79.8)でした。両年を比較すると、10 年間で性比が高くなった学区は 6 学区、低くなった学区は 8 学区、変化なしが 1 学区でした。